



●Answer

さんにおういん きゅうようじ ほんがんじ
コザ山 仁王院 球陽寺(コザ本願寺)
ぜんじゅうしよく
前住職 帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

Q わが家はトートーメーが2個あります。今回、引っ越しなので1個にまとめたのですが、できるという人と、できないという人がいます。できるという人は、どんな点をチェックしているのですか？
(東村・Mさん・40代・女性)

Q 新しい墓を買い、今の墓から骨壺を20個ほど引っ越します。父親以外は全員三十三回忌が終わっているのですが、墓屋さんが、他はまとめて墓の中に流し込めばと言っています。これって、捨てていることになりませんか？
(うるま市・Kさん・50代・男性)

A 2つのご質問は、引っ越しというテーマが共通していますので、ご回答を1つにまとめさせていただきます。

沖縄のトートーメーやご遺骨を納めるカーミ(骨壺)の数え方には2通りあり、ウヤファーフジのご先祖様お一人お一人を1柱と数えるときと、トートーメーやお墓全体の1柱・1括りです。

専門的には、前者の数え方が多い傾向にあります。今回はわかりやすく、後者の考え方で表現していきます。つまり、最初のご質問者のMさん家は2柱のターチウグワンス(二柱御元祖)ということになります。以下、伝統的な沖縄のし

きたりのうち、2柱を1柱にできるか否かの代表的な考え方を紹介いたします。

トートーメーの中央のお札の確認

今後ご供養を継続したいトートーメーの中央のお札に、旧漢字の『歸眞靈位(きしんれい)』『歸元靈位(きげんれい)』『新漢字の(きげんれい)』『新漢字の(きげんれい)』『新漢字の(きげんれい)』『新漢字の(きげんれい)』『新漢字の(きげんれい)』などの四字熟語が記入されているかという点がポイントになることがあります。

沖縄では、この四字熟語が『先祖代々』という意味とされることから、この文字に昇天させたい(お焚き上げして、まとめた)トートーメーのウヤファーフジの全員を先祖代々としてまとめることができると考えられます。つまり、昇天された後、トートーメーは形こそなくなりませんが、この四字熟語の中に、そのトートーメー全体がウヤファーフジされているということになります。

このようなケースでは、昇天させたいトートーメーのウヤファーフジ全員が、三十三回忌を終了していることが前提となります。一般的に、正面から向かって右側の上座のトートーメー(歴史ある古いトートーメー)を、正面から向かって左側の下座のトートーメー(現代の家族のトートーメー)にまとめるときの判

断材料となるようです。

2柱のトートーメーと1個のウコール(香炉)

また、2柱のトートーメーに、それぞれのウコールが準備されているか否かという点がポイントになることもあるようです。これは、本来、2柱のトートーメーがありましたら、ウコールも2個、別々に準備しておくことが理想だといえます。

当時、何かの事情があり、1個のウコールのみで2柱のトートーメーをご供養しているとき、ジョーミチ(門道・正面入口のこと)が1カ所ということ、キッチンとご供養のウトウーシ(お透し・お通し)ができないのではという考え方が理由になっているようです。

その他にも、アジクワイグワンスという、継承者のいない、または、いとも拒否をされていて、一時的にお預かりしているトートーメーも、現実的に1つにまとめたり、昇天されることがありますので、このような点をチェックされているようです。

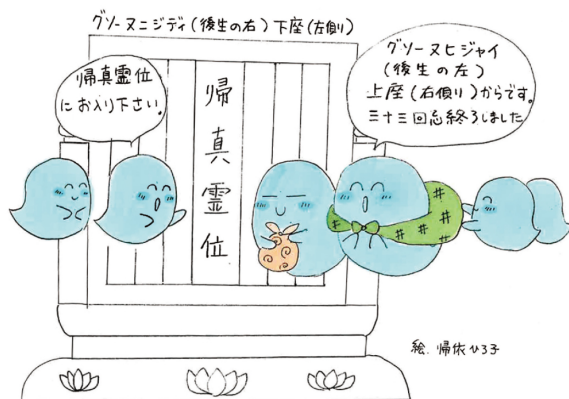
ティンゲー墓の普及と還土(かんど)思想

2つ目のご質問者のKさん家は、立派なお墓を購入されたようです。

ね。今のお墓の種類では、最上段の中央の柵・段の蓋を開けることができ、そこからご遺骨をカーミから出して、丁寧に流し込んでいく納骨方法があります。一見、大切なご遺骨を捨てているようにも見えます。すよね。これは、中国・福建省にも見られる伝統的なしきたりで、お墓の下にある『土』にウヤファーフジがお『還(かえ)』りになる『還土思想』という考え方の表れです。ご安心いただけます。

いづれのご質問でも、可能な限り時間をかけて、家族・親族の目上の方々に相談されることをお勧めいたします。とくに、トートーメーやお墓を継承する若い世代の方々のご意見も、目上の方々と同様、尊重していただければと思います。

その他にも、アジクワイグワンスという、継承者のいない、または、いとも拒否をされていて、一時的にお預かりしているトートーメーも、現実的に1つにまとめたり、昇天されることがありますので、このような点をチェックされているようです。



絵・帰依 433

帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

1968年:岡山県出身(53歳) / 学歴:岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒 / 専門分野:哲学(宗教学) / 沖縄県宗教学研究会・理事長 / FMコザ・ラジオパーソナリティ / 新刊「琉球・沖縄の仏教・浄土真宗 実践講座④」⑥「琉球・沖縄の仏壇・墓 百科事典(上巻・下巻)」～葬式・法事・年中行事の作法・心得 ハンドブック①・②～」令和3年4月発売予定

【質問をお寄せください】年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。